

敦賀港

～港湾振興に向けた取組について～

福井県産業労働部企業誘致課

敦賀港の貨物取扱量

敦賀港総取扱貨物量は1,564万トン 全コンテナ取扱個数は79,860TEU
本州日本海側第2位の取扱量です

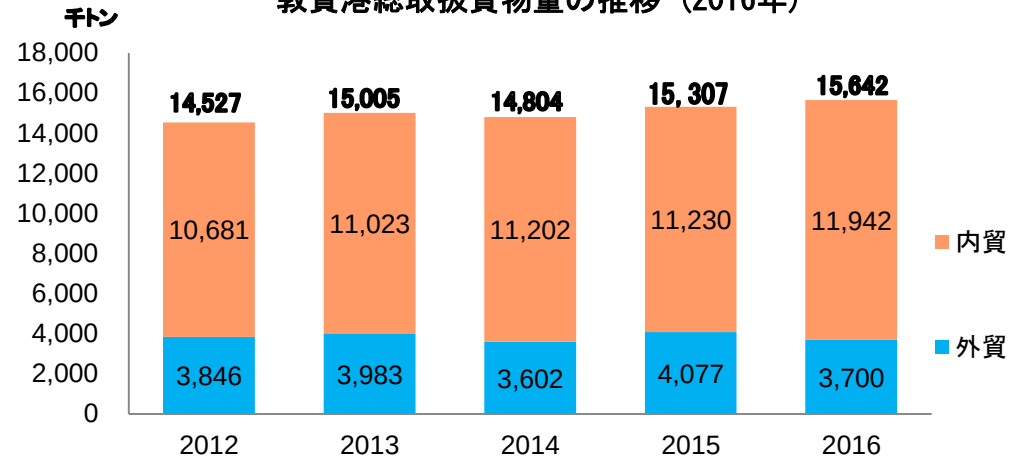
本州日本海側港湾 総取扱貨物量ベスト3 (2016年)

順位	港湾名	貨物量
1	新潟港	3,115万トン
2	敦賀港	1,564万トン
3	舞鶴港	1,083万トン

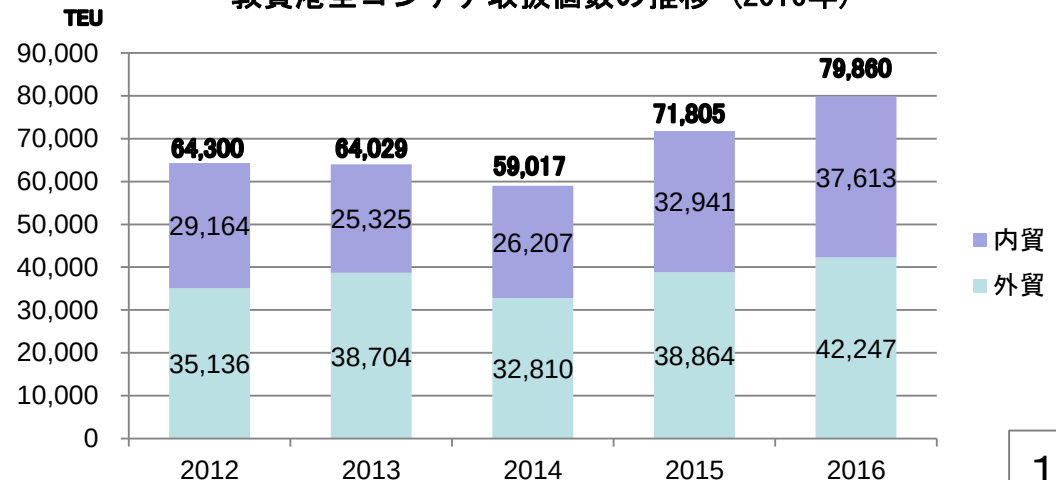
本州日本海側港湾 全コンテナ取扱個数ベスト3 (2016年)

順位	港湾名	取扱個数
1	新潟港	214,524TEU
2	敦賀港	79,860TEU
3	秋田港	79,469TEU

敦賀港総取扱貨物量の推移 (2016年)



敦賀港全コンテナ取扱個数の推移 (2016年)



敦賀港輸出入コンテナ貨物助成金

区 分	対象事業者	助 成 要 件	新規 継続	助 成 額 (下記の助成対象貨物量(TEU)×5千円) (※6千円)	年間限度額
小 口	荷 主 物流事業者	年5TEUを超えて 利用すること	新規	5TEUを超えた分	100万円 (※120万円)
			継続	50TEUを超えた分 過去の貨物量が50TEU以下の場合、 当年度の貨物量から最多貨物量を差し引いた分	
大 口	荷 主 物流事業者	年300TEUを超えて 利用すること	新規	100万円 + 300TEUを超えた分	450万円 (※500万円)
			継続	(※120万円 + 300TEUを超えた分)	
特定大口	荷 主 物流事業者	年1,000TEUを超えて 利用すること	新規	500万円 + 1,000TEUを超えた分	1,000万円
			継続		
混 載	物流事業者	敦賀港CFSを利用した 2社以上の混載貨物であること	新規	1TEU以上	50万円
			継続	当年度の貨物量から最多貨物量を差し引いた分	
両港連携	県内荷主	福井港ふ頭用地で荷捌き を行うこと	新規	1TEU以上(上記に追加して助成)	300万円
			継続		

助成額および年間限度額について 小口・大口の区分で、敦賀港からの距離が概ね50km以上の場合、上記(※)の内容が適用される。

- 継続……過去5年間に本助成金を受けている場合
- 最多貨物量……当年度の前年から遡り、過去5年間に本助成金を受けた貨物量の中で最大の貨物量
- 継続の助成条件……最多貨物量を超えて利用していること
(ただし、両港連携の最多貨物量は、小口・大口・特定大口の最多貨物量とは区別して取扱う)

※本制度は予算の範囲内において助成するものです。

助成制度の手続きについては

敦賀港国際ターミナル様

検索

<http://www.tsuruga-port.co.jp>

B C P の観点からの活用事例



大規模災害時の代替輸送の実証試験で、専用の自動車運搬船（左奥）に新車を積み込む作業。10日、敦賀港

日本海側で初
50台積み込む

同社の国内工場は愛知、新潟など太平洋側に集積し、輸出事を含めた新車、旧車など太平洋側港湾の流通も通常は太平洋側の旧港が長期になる場合

トヨタ自動車は10日、南海トラフ巨大地震などで太平洋側港湾が被災した際の代替輸送ルート確保のため、敦賀港で実証実験を行った。

同社が検討する災害時の事業継続計画（BCP）の一環で、本州の日本海側港湾としては敦賀港が初めて選ばれた。

トヨタ 南海トラフ地震時に代替 敦賀港からの輸送訓練

同港金ヶ崎地区の岸壁付近の用地には、7日に長崎工場（愛知）と大府工場（愛知）から運ばれてきた中国、韓国向けのRAV4やプリウスなど新車50台を配置。この日は自動車運搬船「豊洋丸」（全長129m、5千トン）が同埠頭に接岸した。

作業員は新車一台一台に傷がないかなどをチェックした後、車に乗り込んで運搬し、慎重に船内に積み込んでいった。積み込み作業のほか、避難防止のセキュリティや岸壁の作業環境などを確認。冬場を想定して洗車する模擬訓練も行った。

この後、運搬船は新門司港（北九州市）に向けて出港した。50台は同港で積み替え輸送される。国、県、敦賀市、秋田県や新潟県などの日本海側の港湾管理者や関係者約50人が見守った。訓練を見守った山田賢一副知事は「万一の時に敦賀港を使ってもうするためには口頭のネットワークが重要になる。実証実験を契機に、港の利用をひいてほしい」とトヨタ側に求めた。

同社は実証試験の結果を確認し、BCPに代替輸送の候補港湾として敦賀港を位置付けることを検討する方針。担当者は「大規模災害で太平洋側の港が使えない場合は、敦賀港は代替輸送の最重要港湾の一つとなる。工場から地理的にも近く、使用するための検証をしつかり行いたい」と話した。

クルーズ客船の受入状況

- ・ 9月に海外クルーズ客船「ダイヤモンド・プリンセス」が敦賀港に初寄港。
また、10月にも同クルーズ客船が寄港し、港周辺は大いに賑わいました。
- ・ 出港時間に合わせた敦賀まっりの時間変更や地元高校生による観光案内など、
県民との交流やおもてなしの心がクルーズ客船の乗客・乗員たちに高く評価されました。

